The Wind from Gakuen 学園の風

2012.7.20

和歌山県立田辺中学・高等学校PTA会報誌

TOPICS
教頭挨拶
各部会の報告・計画
24年度の役員が決定
新職員のご紹介
進路指導部より

REPORTS
インターハイに向けて
田辺高校応援団 創団５０周年を迎えて
天神崎学習の感想
天神崎自然観察会

ACTIVITIES
「国際親善部」について
全国高Ｐ連全国大会

REPORTS

天神崎学習の感想

今回の自然観察会では、いろんな生物にふれあうことが出来ました。また、初めて知ることや新しい発見も多くありました。山火事の時、海水をかけても植物が生き残ったそうです。それは海の近くの植物は常に風によって海水をあびているので強いからだそうです。この話を聞いた時、植物の生きる力はすごいと思いました。また、動物もさまざまな種類があり、それぞれに特徴があります。ナマコは体の中身を出して内臓がなくなっても、体を再生することができるそうです。これには驚いたけれど、これも環境に対応した特徴なんだと思いました。また、亜熱帯の生物が多いことにも驚きました。

こんなすごい自然がある天神崎ですが、ナショナルトラスト運動がおこっていなければ、天神崎の自然は破壊されていたはずです。天神崎の山に別荘50軒をたてるという計画が企画されていました。しかし、それに反対した全国の人々がお金を寄付してくれ、山を買い取り天神崎の自然は守られました。だから、この美しい自然を守るために努力してくれた人々に感謝しています。そして、自分たちも自然を守るためにがんばっていこうと思いました。

田辺中学校1年1組　5班

天神崎自然観察会

今回、2回目となる天神崎自然観察会は、昨年の観察会とはまた違う、自然の素晴らしさを大いに感じさせてくれたものとなりました。

雲ひとつない晴天の中、わたしたちは班に分かれて貝、ヤドカリの調査を行いました。わたしの班は、強い風に見舞われながらも、みんなで協力して楽しく調査をする事ができました。事前に授業で学習したヤドカリの種類には2種類あること、ヤドカリの住む貝の種類は様々であることなどの事が実際に自分の目で見て証明する事ができ、より理解が深まりました。調査をする中、一生懸命に生きているヤドカリたちの姿に感動し、小さな命も大切にしていかなくてはいけないと思いました。他にも天神崎の風景をスケッチしたり、短歌を作ったりして、天神崎の自然を楽しみました。

今回の自然観察会でわたしは、身近に見かける生き物を大切にすることで、豊かな自然が育まれているのだという事に気づきました。

このようなたくさんの生き物が生息している素晴らしい天神崎をこれからも守り続けていきたいです。

田辺中学校2年2組
鈴木　由紀

ACTIVITIES

「国際親善部」について

ミラロマ・国際理解教育検討委員会による2年間の審議を経て、専門部として国際人育成を旨に誕生しました。

私達保護者は、子供達の成長を願い、その多くは勉学の高みとして、国公立、有名私立大学、もしくは就職に有利な学校と励まし、援助をする。時に、ふっと!…「これで良いのかな～」日常の中、何とも言えないモヤモヤした気持ちで過ごす。その先に希望する職に…生きがいを感じる生活が…ストレス、プレッシャーをいやおうに受ける社会で「ヘコタレズ行きぬく力が備わっているのかな～」と色んな思いが交錯する。

今、何をすべきか?と考えた末に選択肢の1つが留学体験、いちがいに留学と言っても長短、スタイル、多種多様の中で、本校のミラロマ姉妹校との人的交流（10泊12日）は、ショートステイではあるが、先生引率の下、仲間もいるし、敷居が高いと感ずる躊躇を払拭してくれ、世界への第一歩を安直にしてくれます。

本校を訪れている留学生を通じて交流を深めたり、異文化を理解することなど、活動はふくらみます。そのような意識を持ち、情報を共有していこうとする保護者により、育て運営してゆく部だと考えます。

就職を希望する諸君には、教育の先送りはなし、是非体験してほしい～と思います。

国際親善部長　　森下　繁

全国高P連全国大会

去る7月1日（土）第38回近畿地区高等学校PTA連合会が神戸市にて開催されました。当日は、約2,800名の会員が参加して、開会式のあと記念講演・アトラクション・分科会が行われました。

記念講演では、イラストレーターで絵本作家の永田萌さんが「夢みる力を育てる」と題し絵本を元に講演していただきました。

分科会は、（わが子のコミュニケーション力を向上させるには）と言うパネルディスカッションに参加しました。大変有意義な一日となりました。又紀南の各高校のPTA役員さんたちと同じバスで行ったので懇親を深めることもできました。

PTA会長　　泉　孝志

編集後記

愛する母校田辺高校を卒業して早四半世紀が過ぎ、まさかこのような形で田高に関わることになるとは思いもしませんでした。

何も分からない中で、積極的に本紙発行にご協力いただいた総務部員の皆様には本当に頭が下がります。そして生徒達の勉学、クラブ活動に対する取り組みにも重ねて尊敬の思いが絶えません。

がんばれ「田中・田高生!!」　　総務部長　　小芝鉄也

The Wind from Gakuen 学園の風
和歌山県立田辺中学・高等学校PTA会報誌
発行：2012年7月20日　編集：田辺中学・高等学校PTA 総務部会

TOPICS

ごあいさつ

田辺中学校　教頭　栖原伸精

本校に赴任して、2年目を迎えました。田辺中･高校生の学習に対する意欲的な姿に感心させられる毎日です。このような生徒の期待に応えられるように教職員は授業研究をすすめています。

田辺中学校では本年度の研究テーマを『思考活動を位置付けた授業展開の工夫』として授業改善をスタートしました。国際的な調査（OECD生徒の学習到達度調査）をはじめ各種の学力調査において我が国の児童生徒は、知識の活用力や思考力･表現力をみる調査問題の正答率が低いことが課題となっています。これからは単なる知識の詰め込みではなく、それを実際の生活の問題解決などに活用できるような学びが必要となります。

学校の授業においては、課題について複数の情報を集めて比較したり、情報を要約して意見を述べるなど、自分なりに思考し、判断し、表現する活動を大切にしていかなければならないと考えています。このような学習で生徒に身につけてほしい力は、

1　あきらめないで取り組もうとする力

（課題を見てわからないとすぐにあきらめてしまう生徒がいます。すぐにわからないということは、「思考」を必要とする課題であるということです。「今まで学習したことで使えそうなことはないか」など、すぐにあきらめないで考えていく力を育てるようにします。）

2　自分の考えをわかりやすく説明しようとする力

（考える力と表現する力は互いに補完し合う関係にあります。自分の考えを相手に説明しようとする過程で自分の考えの良い点に気づいたり、誤りに気づくこともあります。また、自分の考えを表現しようとすることで筋道立てて考える力や、さらによりよい考えを作り出せるようになります。）などです。

学校においても取り組みをすすめてまいりますので、ご家庭でもこのような視点でお子様の学習等を支援していただければ幸いです。

24年度の役員が決定しました（敬称略）

役職名	HR	役員名	役職名	HR	役員名
会　長	2C	泉　孝志	2学年委員長	2A	西中　勝義
副会長	中2-2	北　裕喜彦	2学年副委員長	2E	木村　みちる
副会長	3B	田中　辰雄	2学年副委員長	2C	中谷　公子
副会長	1H,3H	井口　千恵子	3学年委員長	3D	垣本　美穂
会　計	3H	真造　賢二	3学年副委員長	3C	山本　倫子
監　事	3H	前垣内　仁志	3学年副委員長	3F	原田　光雄
監　事	2F	光吉　直也	地区委員長	2H	池本　徹
監　事	2G	成瀬　麻友子	地区副委員長	1H,3H	井口　浩充
総務部長	2F	小芝　鉄也	地区副委員長	3H	志波　英和
総務部副部長	2C	狼谷　慎一			
総務部副部長	3E	横矢　由里			
健全育成部長	3E	尾﨑　弘和	**学校職員**		
健全育成部副部長	1H	榎本　博文			
健全育成部副部長	1F	谷本　智子	校　長		井上　雅雄
教養部長	2B	野田　典子	教　頭		三角　雅彦
教養部副部長	2B	榎本　順子	中学校教頭		栖原　伸精
教養部副部長	2G	岡本　美香	事務長		坂本　好志
国際親善部長	3G	森下　繁	総務部長		汐崎　一郎
国際親善部副部長	2H	堀　みどり	教務部長		野間　宏久
中学部部長	3-2	曽我部　宗大	進路指導部長		原　義則
中学部副部長（副委員長）	3-2	三栖　隆成	生活指導部長		田中　格
中学部副部長（副委員長）	2-2	井谷　康司	生徒活動部長		沼野　正博
中学部副部長（副委員長）	1-1	稗田　敦	1学年主任		畑﨑　真定
1学年委員長	1H	西出　元	2学年主任		山下　人
1学年副委員長	1H	田上　三千代	3学年主任		稗田　眞由美
1学年副委員長	1G	吉田　真也	PTA職員		木村　祥子

各部会の報告・計画

◎教養部

◦平成24年度活動計画

6月　8日（金）　第1回教養部会　同窓会館

8月　上旬　第2回教養部会　同窓会館

文化祭の詳しい内容についての話し合いなど

9月14,15日（金、土）　田高祭（一般公開）に参加

喫茶コーナー「カフェ　ドゥ　ママン」の開催

（今回は喫茶部のみ営業をします。）　同窓会館

7～8月　大学見学会

（和歌山大学、大阪市立大学、京都大学）

9月29日午後　PTA進路講演会　紀南文化会館小ホール

（講師は現在進路指導部の原先生と検討中）

〈H.25〉

4月下旬　PTA進路講演会&個人相談会　紀南文化会館小ホール

（進路講演会　水野保氏）

◎健全育成部

◎活動目的

学校との緊密な連携により、生徒の健全な育成に努める。

◎平成24年度活動計画

◦部会

◦生徒登校観察（春、秋年2回　6月、11月）

春は、正門･裏門　秋は、街頭での観察

（通学時の服装、交通マナーの観察）

◦紀南6高校本部役員会（PTA生活指導連合会）への参加

（7月、12月）

◦全国高校PTA連合和歌山大会への協力（8月）

◦田辺市暴力追放パレードへの参加（10月）

新職員のご紹介（敬称略）

―高　校―

三角　雅彦　「学ぶ」とは何かをしっかり考えて取り組みたいと思います。

山本　聡一　社会科の山本です。何事にも全力で!!がんばります。

堀　さおり　社会科の堀です。よろしくお願いします。

吉本真知子　社会科の吉本です。よろしくお願いいたします。

峯園　広之　生徒たちに笑顔を与えられるよう、明るくがんばっていきます。

今田　彰信　数学科の今田です。生徒に負けないようにがんばります。

泉本　福子　元気と笑顔でがんばります。よろしくお願いします。

山本　俊哉　主に地学を担当します。得意分野は紀伊半島の地質です。

宮井　優介　理科を担当している宮井です。一生懸命がんばります。

西岡　志帆　英語を担当します。よろしくお願い致します。

東野　聖加　英語科の東野です。よろしくお願いします。

成川　純平　英語を担当しています成川です。がんばりますのでよろしくお願いします。

中山　和　"和"の心をもって、いつも笑顔で前向き人間、保健体育科、中山です。よろしくお願いします。

上中　美智　保健室の上中です。人とのつながりを大切に、笑顔で頑張ります。

坂中美保子　より良い図書館づくりを目指して頑張ります。

横山　千裕　母校に来られてうれしいです。よろしくお願い致します。

―中学校―

平野希栄子　2年担任で数学担当です。よろしくお願いします。

上地　信之　1日1日を大切に一所懸命がんばります。よろしくお願いします。

生田　剛　理科とバスケットの担当です。よろしくお願いします。

◇　◇　◇　◇　◇　◇

山本　みか　事務室の山本です。どうぞよろしくお願いします。

谷　まどか　事務室の谷です。よろしくお願いいたします。

出口　恵三　校内の環境美化推進に務めます。

美濃　豊　『和歌山県内NO.1』の校内美化に努めます。

TOPICS

進路指導部より　3階の魔力

田高には不思議なことがある。

低学年のとき落ち着きのない生徒が多く、「どうなることやら」と心配していた。4月になり、2階から3階に教室が上がっただけ、それだけでまったく違った雰囲気の集団に変わる。3年生ではなく受験生に変わるのだ。毎年のことだが、その変わり方には本当に驚く。

『馬を水飲み場に連れていくことはできても、水を飲ませることはできない。』アメリカの古いことわざだ。あんなにやいやい言ってもやらなかった子供たちが、総体が終わったら、ローカ学習を始める。また、早朝学習する子が増えてくる。「こうしなさい」と先生が指導したというより、その時期になったら自然にそうなる。「よしやるぞ」の雰囲気が自然に出てくる。

これが3階の魔力だ。田辺高校の伝統の不思議な力なんだろう。この力を借りて子どもたちは大きく飛躍しようとしている。

REPORTS

インターハイに向けて

6月に行われた県高校総体でバトミントンシングルス、ダブルスの両種目で優勝し、8月1日～6日に福井県で行われるインターハイへの出場権を今年も得ることができました。

僕は昨年のインターハイのシングルス1回戦で他県の1位の人と対戦してフルセットの結果負けるという悔しい思いをしました。今年はその悔しさをバネにして、なんとしてもシングルスでは勝ちたいと思います。ダブルスでのインターハイ出場というのは、僕にとって最初で最後になるので悔いの残らないように思いきってプレーしたいと思います。それが勝利という結果につながってくれると嬉しいです。

全国大会での勝利というのはそう簡単なことではないので、残り少ない練習に集中して取り組み、この「インターハイで勝利」という目標を達成できるよう頑張りたいと思います。

バトミントン　3C　弓倉　慶也

僕たちワンダーフォーゲル部は、県総体で優勝し、新潟県の苗場山で行われるインターハイに出場することになりました。今回総体で優勝できたのは、日頃の体力トレーニングをまじめにやり、先生方が教えてくれたことを生かすことができたこと、また4人で協力し、お互いのミスをなくそうと努力し、最少の減点で切り抜けられたことだと思います。インターハイでは今回の総体でやったように、とにかくミスをなくすことを心がけて、少しでもいい成績をとれるようにがんばりたいと思います。また、登山大会は、安全に楽しく山を歩けるように山登りの知識や技術を競う競技です。なので、順位を競うだけでなく、日頃なかなか登ることのない新潟の山に登ること、そこからの絶景を見ることを楽しんで、高校生活のすばらしい思い出として心に残るような大会にしてきたいと思います。

ワンダーフォーゲル部部長　3G　上垣　紀之

私は、富山県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場します。全国という場への出場権を得たときはとてもうれしく思い、それに向けて、一生懸命練習に取り組んできました。作品が完成するまでに、先生の指導を受けながら、直すべきところがあれば改善を積み重ねてきました。工夫を凝らした末作品が仕上がった時は、達成感がとても感じられました。この一生懸命に練習を積み重ねてきた経験は、今後において生きてくるだろうと思います。

全国大会では、他校の多くの人々の作品を見たり、色んな人々と交流を深めたりと、普段ではできない貴重な経験をして多くの事を学んできたいと思います。そして、書道に関して今よりももっと興味を持ち、視野を広げられるようにしたいです。また、「一期一会」をたいせつにし、この機会に得た経験によって新たな自分を発見したいと思います。全国大会出場を成功させ、自分の人生を豊かにできるように、がんばっていきたいです。それから、今まで指導をしてくださった先生や、その他の多くの人々への感謝の気持ちも忘れないようにしようと思います。

書道部　3A　藤山　歩美

田辺高校応援団 創団50周年を迎えて

今年で田辺高校応援団は創団50周年を迎え、田辺高校応援団OB会より、2着のりっぱな羽織袴を寄贈していただきました。自分自身、このような大きな節目に団長になれたことをうれしく思うと同時に、50年という歴史の重みを感じています。今年は新入部員もたくさん入り、より迫力のある応援ができるようになったわけですが、「即席の応援団ではないのだから」という周りの目も厳しくなるだろうと思っています。そのため、日々懸命に練習をしてきました。

『田高應援團』であることに誇りを持ち、支えてくれるOBの方々や周りの人への感謝の気持ちを忘れず団員一同、田辺高校の勝利に少しでも貢献できるよう今年の夏も全力で応援します。　押忍!!

應援團團長　3B　福山　晃大